



平成 29 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 2 1 L A D Y 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 井 道 子  
(コード番号:3346 名証セントレックス)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 担 当  
マネージング・ディレクター 辻 井 彰 彦  
電 話 番 号 03(3556)2121

### 第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、平成29年3月15日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当」といいます。）を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当該取締役会における本第三者割当の採決にあたっては、割り当てを受ける取締役（代表取締役社長 藤井道子氏）は特別の利害関係を有するため決議には参加せず、藤井氏以外の出席取締役全員の賛成により、決議いたしました。

#### 記

##### 1. 募集の概要

(1) 払込期日	平成29年3月30日
(2) 発行新株式数	普通株式 97,000株
(3) 発行価額	1株につき金103円
(4) 調達資金の額	金9,991,000円
(5) 募集または割当方法（割当予定先）	第三者割当による 藤井道子 97,000株

##### 2. 募集の目的及び理由

当社グループの平成28年3月期は、ヒロタ事業における売上高は2,048,999千円となり、前年同期と比較して5.3%増加し、材料費・物流費等の削減により、営業損失は前年同期より減少

し5,870千円となりました。また、イルムス事業における売上高は936,776千円となり、前年同期と比較して1.4%減少し、販売費・一般管理費の圧縮が計画を下回り、営業損失は41,737千円となり改善に至りませんでした。当社グループ全体で見ると、88,722千円の当期純損失を計上し、平成28年3月期末の連結純資産額が8,466千円となるなど、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しており、不採算店舗の退店、製造原価、販売管理費の圧縮といった改善策を進めております。

平成29年3月期第3四半期連結累計期間は、当該改善策が奏功し、ヒロタ事業は50,980千円の営業利益、イルムス事業においても6,000千円の営業利益と改善が進んでおりますが、当社グループ全体で見ると、5,484千円の当期純損失を計上しており、当社グループの財務基盤は、連結純資産額は2,569千円、自己資本比率は0.1%となり、自己資本の増強が必要な状況であると考えております。また、平成29年3月9日付『業績予想の修正に関するお知らせ』のとおり、当社グループ全体で平成29年3月期には、収益改善が進み、営業利益は黒字になる見込みであります。減損損失等により当期純利益は赤字になる見込みであり、改善策を更に推し進めていく必要があると考えております。

そこで、当社において資本政策等を模索したところ、自己資本を増強し、当社事業の継続性についての信認を得るためには、第三者割当による資金調達を行い、ヒロタ事業における直営店の再構築資金（退店費用等の統廃合資金）に充てることと判断いたしました。

この度の資金調達に際しては、自己資本を増強することから、公募増資、株主割当増資、第三者割当増資等を検討いたしましたが、資金調達を早期に実施できることで、第三者割当増資を選択いたしました。調達金額に関しましては、来期の事業計画を達成するための直営店舗の再構築資金で必要不可欠な金額といたしました。

なお、本第三者割当による新株式発行により、当社株式に一定程度の希薄化が生じることになりますが、本第三者割当は前述したとおり、既存株主の皆様には不相当な不利益を与えるものではなく、経営基盤の安定化と当社の将来的な企業価値の向上となり、結果として既存株主の皆様の利益向上につながるものであり、本第三者割当による当社株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

①払込金額の総額	9,991,000円
②発行諸費用の概算額	140,000円
③差引手取概算額	9,851,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、司法書士報酬などです。

## (2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
ヒロタ事業の店舗再構築資金	9	平成29年4月～9月

当社グループにとってヒロタ事業における直営店舗の収益改善は喫緊の課題となっており、直営店舗の再構築資金として、具体的には、直営店舗の退店費用等の統廃合資金として使用いたします。

## 4. 資金使途の合理性に関する考え方

上記「2. 募集の目的及び理由」に記載しましたとおり、ヒロタ事業の直営店の再構築資金に当てるとともに純資産の改善を図り、当社事業の継続性についての信認を得ることを目的としております。

以上のように、今回調達する資金は、自己資本の増強を目的とするものであり、今後の当社グループの事業の安定性に寄与するものと判断いたします。従いまして、新株発行の資金使途は、十分に合理性があるものと考えております。

## 5. 発行条件等の合理性

### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株の発行価額は、本新株発行に関する取締役会決議日の直前営業日（平成29年3月14日）の株式会社名古屋証券取引所（以下「名古屋証券取引所」といいます。）が公表した当社普通株式の終値である103円と決定しました。

この発行価額は、本件取締役会決議日の前営業日までの1ヶ月間（平成29年2月15日から平成29年3月14日まで）の終値の平均値101円に対して2.0%のプレミアム、本件取締役会決議日の前営業日までの3ヶ月間（平成28年12月15日から平成29年3月14日まで）の終値の平均値101円に対して2.0%のプレミアムであり、及び本件取締役会決議日の前営業日までの6ヶ月間（平成28年9月15日から平成29年3月14日まで）の終値の平均値94円に対して9.6%のプレミアムであり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」を満たしております。

本日開催した本第三者割当に係る取締役会に出席した監査役3名（うち社外監査役3名）は、本第三者割当の実施を決議した取締役会決議において、上記払込金額は合理的と考えられる算定根拠により決定され、上記「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠していることから、上記払込金額は割当予定先に特に有利な金額または特に有利な条件による発行には該当しない旨の意見を表明しております。

### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当による新株式の発行数量（募集株式の総数）は97,000株であり、本第三者割当前の当社の発行済株式6,523,653株の1.50%、本第三者割当前の当社の総議決権数の1.50%に相当します。そのため、本第三者割当による新株式発行により、当社株式に一定程度の希薄化が生

じることになります。

しかしながら、前記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、本第三者割当により純資産の改善に寄与し、当社の企業価値が向上するものと想定されます。

したがって、本第三者割当によって上記の一定程度の希薄化が生じるとしても、既存株主の皆様には不相当な不利益を与えるものではなく、経営基盤の安定化と当社の将来的な企業価値の向上となり、結果として既存株主の皆様の利益向上につながるものであり、本第三者割当による当社株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

## 6. 割当予定先の選定理由等

### (1) 割当予定先の概要

① 氏名	藤井 道子	
② 住所	東京都千代田区	
③ 内容	当社代表取締役社長	
④ 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	平成28年9月30日時点で当社普通株式2,218,500株を保有しております。
	人的関係	当社代表取締役社長
	取引関係	該当事項はありません。

なお、当社は、藤井道子氏との面談によって、反社会勢力とは一切関係ないことを確認しており、その確認書を名古屋証券取引所へ提出しております。

### (2) 割当予定先を選定した理由

藤井道子氏は、平成12年3月当社の会社設立からの代表取締役社長であり、当社の構造改革をけん引してきており、当社の業績回復、財務体質の強化に対する強い意欲を有していることから、本第三者割当における割当予定先として選定いたしました。

### (3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先に割り当てる当社普通株式について、割当予定先から継続的に保有する意向であることを確認しております。なお、当社は割当予定先から、割当後2年間において当該株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちにその内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を名古屋証券取引所に報告すること及び当該内容が公衆の縦覧に供されることに同意する旨の確約書を受領する予定であります。

### (4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

藤井道子氏からは、本第三者割当に係る払込金額は、同氏の手元資金から充当する旨を伺っております。当社は、藤井道子氏名義の銀行口座の預金通帳の写しを頂いており、払込に要する資金を上回る残高を保有することを確認しております。

## 7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成28年9月30日現在）		募集後	
藤井 道子	34.01%	藤井 道子	34.97%
合同会社 Ocean Wealth Crowd	29.26%	合同会社 Ocean Wealth Crowd	28.83%
合同会社渡部美奈子事務所	4.11%	合同会社渡部美奈子事務所	4.05%
井関 清	1.59%	井関 清	1.57%
西村 益浩	1.33%	西村 益浩	1.31%
S E H & I 株式会社	1.22%	S E H & I 株式会社	1.21%
近藤 広嗣	0.97%	近藤 広嗣	0.95%
加藤 義和	0.95%	加藤 義和	0.94%
梶浦 泰一郎	0.82%	梶浦 泰一郎	0.81%
S I X S I S L T D.（常任 代理人 株式会社三菱東京U F J 銀行）	0.77%	S I X S I S L T D.（常任 代理人 株式会社三菱東京U F J 銀行）	0.76%
計	75.03%	計	75.40%

(注) 1. 募集前の持株比率は、平成28年9月30日時点の株主名簿を基準として発行済株式総数に対する比率を記載しております。

2. 募集後の持株比率は、平成28年9月30日時点の株主名簿に本第三者割当による増加分97,000株を加算して算出した総数を分母として計算し、推定しております。

## 8. 今後の見通し

当社は、本第三者割当の実行で、自己資本を増強することになりますが、現時点では、平成29年3月期の連結業績への影響は軽微であると判断しております。今後影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示します。

## 9. 企業行動規範上の手続に関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、名古屋証券取引所の定める上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則第34条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

なお、支配株主との取引等に関する事項について、該当事項はありません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の連結業績

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
売上高	3,068,563千円	2,895,348千円	2,985,776千円
営業損失(△)	△39,632千円	△87,280千円	△86,644千円
経常損失(△)	△40,598千円	△94,703千円	△101,745千円
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△58,162千円	△74,353千円	△88,722千円
1株当たり当期純損失(△)	△14.92円	△16.68円	△14.86円
1株当たり配当金	0円	0円	0円
1株当たり純資産額	△5.75円	2.29円	1.12円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりま  
す。これに伴い、平成26年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純損  
失及び1株当たり純資産額を算定しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(平成29年3月15日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	6,523,653	100.00%
現時点の転換価額(行使価額) における潜在株式数	309,547	4.74%

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
始値	10,380円 *112円	103円	88円
高値	20,300円 *139円	165円	150円
安値	8,800円 *94円	85円	75円
終値	11,300円 *102円	87円	77円

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行っており、平成26  
年3月期の\*印の株価は、当該株式分割による権利落後の株価を示しております。

②最近6ヶ月間の状況

	平成28年 9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月
始値	80円	92円	85円	110円	101円	101円
高値	84円	107円	118円	110円	103円	102円
安値	70円	76円	77円	94円	97円	92円
終値	78円	85円	109円	101円	98円	100円

③決議日前営業日における株価

	平成29年3月14日
始値	102円
高値	103円
安値	102円
終値	103円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

①-1 第三者割当による新株式の発行及び第6回新株予約権の発行

割当日	平成27年7月1日
新株予約権の総数	7,392個
発行価額	総額2,528,064円（新株予約権1個につき、342円）
当該発行による潜在株式数	739,200株（新株予約権1個につき、100株）
発行時における調達予定資金の額	40,748,064円（差引手取概算額）
割当先	合同会社 Ocean Wealth Crowd
募集時における発行済株式数	5,084,700株
当該募集における潜在株式数	739,200株
現時点における行使状況	行使済株式数 400,000株 （新株予約権未行使残高 3,392個、行使価額 1株当たり50円）
現時点における調達した資金の額	20,000,000円
発行時における当初の資金用途	① ヒロタ事業設備投資（工場設備等） 23百万円 ② ヒロタ事業海外事業展開資金 15百万円
現時点における充当状況	平成29年3月15日までに調達した資金20百万円は、 ① ヒロタ事業設備投資 5百万円 ② ヒロタ事業海外事業展開資金 15百万円 に充当しております。

①-2 第三者割当による新株式の発行及び第6回新株予約権の発行

払込期日	平成27年7月1日
発行新株式数	739,300株
発行価額	1株につき50円
調達資金の額	36,965,000円
発行時における調達予定資金の額	35,705,000円（差引手取概算額）
割当先	合同会社 Ocean Wealth Crowd
発行時における当初の資金使途	ヒロタ事業運転資金 36百万円
現時点における充当状況	発行時における資金使途は以下のとおり、充当しております。 ヒロタ事業運転資金 36百万円

②第三者割当による自己株式の処分

処分期日	平成26年5月29日
処分株式数	498,500株
処分価額	1株につき93円
処分価額の総額	46,360,500円（差引手取概算額：41,169,450円）
処分先	株式会社ページワン
発行時における当初の資金使途	① ヒロタ事業設備投資資金 20百万円 ② ヒロタ事業運転資金 21百万円
現時点における充当状況	発行時における資金使途は以下のとおり変更し、充当しております。 ① ヒロタ事業設備投資資金 15百万円 ② ヒロタ事業運転資金 26百万円

③第5回新株予約権

割当日	平成26年3月3日
新株予約権の総数	96個
発行価額	総額547,200円（新株予約権1個につき、5,700円）
当該発行による潜在株式数	960,000株（新株予約権1個につき、10,000株）
発行時における調達予定資金の額	85,764,800円（差引手取概算額）
割当先	マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社 *平成27年5月1日、合同会社 Ocean Wealth Crowd に新株予約権27個譲渡されております。

募集時における発行済株式数	4,394,700株
当該募集における潜在株式数	960,000株
現時点における行使状況	行使済株式数 960,000株（行使価額 1株当たり96円）
現時点における調達した資金の額	92,160,000円
発行時における当初の資金使途	① ヒロタ事業設備投資資金 40百万円 ② ヒロタ事業運転資金 25百万円 ③ イルムス事業新商品開発・仕入資金 20百万円
現時点における充当状況	調達した資金は、 ① ヒロタ設備投資資金 40百万円 ② ヒロタ事業運転資金 25百万円 ③ イルムス事業新商品開発・仕入資金 20百万円 に充当しております。

#### 11. 発行要綱

- (1) 発行新株式数 普通株式 97,000株
- (2) 発行価額 1株につき 金103円
- (3) 発行価額の総額 金9,991,000円
- (4) 資本組入額 1株につき 金52円
- (5) 資本組入額の総額 金5,044,000円
- (6) 募集方法 第三者割当
- (7) 申込期日 平成29年3月30日
- (8) 発行期日 平成29年3月30日
- (9) 割当先及び割当株式数 藤井道子 97,000株

以 上